

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	全域
取組の名称	一般県民への食育推進
実施時期	6月10日（月）～14日（金）
取組内容	【食育・地産地消の取組み展示】 6月の食育月間に合わせ、県および各市町の食育・地産地消に関する取組みを紹介する展示を、一般県民の方々が多く利用する施設で行いました。 また、地元紙（福井新聞）において展示が紹介されました。  

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	福井市
取組の名称	イベントにおける食育ブースの出展 「たべまるちゃんと食育を学ぼう！in 習い事フェスタ」
実施時期	令和元年 6 月 2 日（日）10:00～16:00
取組内容	こどもの学びとして、習い事や健康、食育等についてこどもと家族と一緒に学ぶ機会を提供する「習いごとフェスタ」に食育ブースを出展しました。 【企画】 ○食育ミッションチャレンジコーナー ①お米の計量体験、②箱の中身あて、③食育クイズ - ミッション挑戦者には、ガチャガチャノベルティプレゼント ○食育ワンポイントアドバイス掲示 ○食育マスコットキャラクターふくい たべまるちゃん写真撮影会 ○同ぬりえコーナー 【参加者】 ミッション挑戦者数 200 人 ブース来場者数（延べ） 500 人   ミッションチャレンジ中（お米の計量体験、箱の中身あて）   食育クイズ、食育アドバイス掲示 がちゃがちゃコーナー

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	敦賀市
取組市町村名 取組団体・企業名	嶺南振興局二州農林部、敦賀市、J A
取組の名称	農園見学会
実施時期	6月
取組内容	県の補助金を使用し、かぼちゃの種を敦賀市内の農家へ配布しました。収穫したかぼちゃは、学校給食で使用します。 6月に実際に農園見学に行き、かぼちゃの栽培状況を確認しました。 また、生産者を紹介する「食育通信」を作成し、各小中学校及び農作物直売所に配布しました。  

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	①、②小浜市食のまちづくり課、キッズ☆サポーター ③小浜市食のまちづくり課、グループマーメイド ④小浜市食のまちづくり課、小浜市立中学校、グループマーメイド
取組の名称	①キッズ・キッチン基礎編 ②キッズ・キッチン拡大編（テーマ：子どもがつくる一汁一菜） ③季節の調理体験の実施（テーマ：出汁） ④家庭科魚捌き実習
実施時期	①令和元年6月4日（火）、13日（木）、14日（金）、21日（金）、 28日（金）【市内保育園年長児】 ②令和元年6月1日（土）【年中児～小学1年生】 ③令和元年6月24日（月）、25日（火）【小学生以上】 ④令和元年6月7日（金）、18日（火）、20日（木）【小浜市立小浜第二 中学校2年生】
取組内容	①、②料理を教えるのではなく、料理で教える教育プログラムです。親は 手を貸さずに見守り、子どもたちだけで料理を行うことで、「ひとりでで きた」という自信を持たせます。また、料理の方法や手順だけでなく、食 文化やマナー、約束を守ること、他人を思いやることなど、社会の中で生 きていくために大切なことを総合的に学びます。中でも特に、料理を通じ て直接命に触れ、「命をいただいている」ということを大切にしています。 <メニュー>かまど炊きご飯、具たくさん味噌汁、ごま和え、果物または ミディトマトなど ③基本的な出汁のひき方を学んでいただき、一番出汁や二番出汁に適した 料理や、丁寧に汁をひいて使うことで、薄味でも美味しい料理となる（減 塩に繋がる）ことなどをお話しながら、テーマに沿った調理体験を行いま した。今回の献立は出汁をテーマに組み、あらためて「出汁のひき方」と その深い味わいを楽しみました。 <メニュー>新生姜の炊込みご飯、出汁巻き、野菜の炊き合わせ、昆布た っぷりの和風スープ、いちご大福 ④1人1尾ずつ小鯛を扱い、ひれやエラを実際に触ったり、耳の役割など を確認したりしながら、1回に産む3万個の卵のうち成魚になれるのはわ ずか1～2匹であることにふれ、貴重な命をいただいていることを学んで いただきました。 その後小鯛の下処理をして煮付けにし、動画を使い、正しい箸の持ち方や 所作、魚の美しい食べ方を確認しながら、試食をしました。

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	大野市 あかね保育園
取組の名称	ほうれん草のソテー作り（園庭の畑で採れたほうれん草をソテーして食す）
実施時期	令和元年6月20日
取組内容	食に興味や関心を持てるようにすることを目的に、年長児15名が5月に園庭の畑に夏野菜の種や苗を植えました。ほうれん草もその中の野菜の一つで、子どもたちが種まきから水やりなど毎日のお世話をしながら、生長を観察し育ててきました。 6月20日収穫。簡単に抜けると思っていた子どもたちでしたが、しっかりと根のはったほうれん草に苦戦する姿もあり、野菜のもつ力強さに驚いていました。 ホットプレートでソテーする様子を見て、山盛りになっていたほうれん草のかさが小さくなったのに気づき「なんで小さくなったん？」と不思議に思ったことを保育者に聞いたり、「いいにおいするな。」と野菜が炒まっていく匂いをかいだりしていました。できたてをみんなでわけて味わうと「おいしい。」「甘い。」とほうれん草の味を楽しむ子ども達でした。 自分たちで野菜を育てる経験をとおして収穫の喜びやとれたて野菜のおいしさを感じることはもちろん、野菜の苦手な子も少しでも苦手な野菜が減るといいなと思っています。  種まき  収穫  ほうれん草のソテー

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	勝山市
取組の名称	①市民総合大学：高齢者にもやさしい肉料理 ②市広報誌での食育啓発
実施時期	①令和元年 6 月 1 日 ②令和元年 6 月
取組内容	①「豚肉料理がプロの裏技でおいしくて体にやさしい料理に変身」と題してプロのシェフから料理を 11 名の方が学びました。メニューは【豚肉南蛮漬け】【ポークカツレット】【豚肉のしぐれ煮】【豚しゃぶのチリボン酢】【ポテトのジャーマン風】の 5 品を作りました。地元野菜もふんだんに使い食育の知識も学びました。     ②食育推進における目標と方向性を示す「第 3 次勝山市食育推進計画」の内容を市民に周知しました。 また、地産地消のため市内直売所を紹介しました。 

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名	福井県
政令指定都市名	
取組市町村名	鯖江市
取組団体・企業名	
取組の名称	「味覚の授業」の実施 / 「地場産学校給食の日」の開催
実施時期	「味覚の授業」6/5～6/21 / 「地場産学校給食の日」6/27、28
取組内容	【「味覚の授業」の実施】 鯖江市では、味覚が発達し始めるといわれる小学校3年生を対象に、食育推進の一環で「おいしさをたんけんしよう」というテーマのもと、「味」について理解を深め、今後の食するときの気付きにつなげることを目的に、「味覚の授業」を市内全12小学校で実施しています。この授業では、見た目が似ている3種類の液体（緑茶、リンゴジュース、醤油を水で薄めた液体）を、五感や五味を使って何の飲み物であるかを当てていく内容で、栄養教諭等から、おいしさの要素について指導をいただきました。また、外部講師として「ボーノ夢菓房（鯖江市の菓子店経営者有志でつくるグループ）」の協力も得て、菓子をテイスティングしながら、甘味、酸味、苦味、塩味などの味から菓子の味ができていることや、菓子の部位により味が違うことなど、気付きを重点に指導を受けます。他にも、6月の「味覚の授業」の実施にあわせ、市内全小学校の学校給食メニューに「五味給食」が登場しました。五感と五味を意識し、よく噛んで味わいながら、甘味、酸味などの五味を体験する献立（ごまひじきご飯、海老チリソース、夏みかんサラダ、豆腐とほうれん草のスープ、かみかみきなこ大豆、牛乳）です。児童らは、学校給食を通じて、学習した内容の振り返りを行うことが出来ました。 【「地場産学校給食の日」の開催】 鯖江市では6月の食育月間にあわせ、児童・生徒・園児に顔が見える地元生産者の野菜は新鮮で味がよく、安全で安心して食べることができることを実感してもらい、郷土の農産物への関心や給食に係る人たちへの感謝の気持ちを高めることを目的に「地場産学校給食の日」を実施しています。今回で22回目の開催となりました。市内全12小学校に設置した「学校給食畑」のボランティア農家らの支援を受け、地元の農家から届く新鮮な野菜や、6次産業化に取り組む女性農家グループによる福神漬け、地元の米と大豆で作られた味噌などが提供されました。 今回は2日間で、市内全ての小・中学校、幼稚園、公立保育所、こども園の児童、生徒ら約7,300人が取組み、特に小学校では、地場産業である越前漆器の給食用食器を優先して使用しました。小学校、幼稚園の献立は、さばえ菜花米ごはん、県産チキンフライ、鯖江藩まなべ汁（※）、ちかもんづけ（地場野菜の福神漬け）あえ、ミディトマトでした。河和田小学校では、鯖江市長が1年1組を訪問し、児童とともに地元の味が詰まった給食をいただきました。



（鯖江市進徳小学校での様子）



（鯖江市河和田小学校での様子）

鯖江産食材（不足分は一部県産）・・・さばえ菜花米、じゃがいも、玉ねぎ、人参、キャベツ、ブロッコリー、ねぎ、ミディトマト、小松菜、近松の里（福神漬）、味噌

※鯖江藩まなべ汁・・・越前鯖江藩主 間部詮勝（まなべあきかつ）が倭約を実践するために食べたといわれる味噌汁です。当時は、地場野菜と大豆の粉を使用していましたが、給食では食べやすい「打ち豆」を使用してアレンジしています。

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	あわら市
取組の名称	①簡単和朝食を親子で一緒に作ろう ②こども園での食育推進 ③あわら市内小学校の取組み
実施時期	①6月15日(土) ②6月 ③食育月間中
取組内容	①簡単和朝食を親子で一緒に作ろう ～和食を中心にバランスのとれた、簡単朝食作り～ 食生活改善推進員を講師とし、日本型の食生活についての話や朝食を食べることの大切さについて話をし、親子で調理実習をした。子供達は積極的に調理に携わろうとしており、「普段、家ではやろうとしないような事もここだとします」という意見が聞かれました。親はできる限り子供たちに体験させようと切り方、焼き方などを寄り添いながらゆっくり教えていました。朝食欠食率0を目指し「簡単和朝食」とし、簡単に作れるメニューを多数用意し、簡単なものなので組み合わせて作ってもらえると良いと伝えました。納豆や魚など好き嫌いをすることなく完食していました。 ②こども園での食育推進※市内の各こども園にて、食育に関わる様々な取組みを実施 芦原こども園…「地引網体験・クッキング」、北潟こども園…梅ジュース作り 金津東子ども園…食べ切り学習会（食べ切り運動の紙芝居、うたとダンス） 善久寺こども園…歯と口の健康習慣での歯科検診、ブラッシング指導、 「かみかみメニュー」給食の提供 本荘子ども園…とうもろこしの皮むきと試食 妙安寺こども園…旬の野菜の触れ合い(そら豆のさやむき等)ふりかけ作り（白ご飯残食防止の取組） ③ふくいので場産学校給食（食育月間中）あわら市内全校児童 【目的】福井県の地場産食材を使用した学校給食を児童に提供するとともに、それらを教材とした食に関する授業を実施することを通して、地域の農林水産業や食文化への理解を深め、ふるさと福井を誇りに思う心を育てる。 【内容】あわら市給食センターからの指導案や資料をもとに担任より、各学年の実態に合わせて、「マルセイユメロン」「ふくいサーモン」「とみつ金時」などについて学習をしました。おいしく給食をいただき、後日、マルセイユメロンについての感想を書きました。

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	越前市
取組の名称	地場産給食の日の実施
実施時期	6月19日
取組内容	越前市産トマト・きゅうりを味わう日として、越前市産の「紅式部トマト」・「きゅうり」を献立に取り入れました。 当日は小学校と同じ校区で生産している農家さんから直接搬入していただき、新鮮で安全安心な給食を小学生と生産農家さんと一緒に食べました。  ・越前市産きゅうりの炒り大豆あえ ・越前市産トマトスライス

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	坂井市
取組の名称	① 市広報誌を用いた食育の推進（坂井市食育市民ネットワーク通信発刊） ② 坂井市食育市民ネットワーク全体研修会の開催
実施時期	① 令和元年6月 ② 令和元年6月22日
取組内容	【市広報誌を用いた食育の推進（坂井市食育市民ネットワーク通信発刊）】 市の広報誌「広報さかい6月号」（全戸配布）に坂井市食育市民ネットワーク通信を掲載し、食育の周知拡大を図りました。  【坂井市食育市民ネットワーク全体研修会の開催】 6月22日に坂井市食育市民ネットワークの全体研修会を開催し、福井大学医学部附属病院診療部の新野保路先生による「食でつながる健康のまちづくり～地域の一人としてそれぞれにできること～」と題した講演会を行いました。107名の参加者が熱心に耳を傾けていました。 

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名	福井県
政令指定都市名	
取組市町村名	永平寺町
取組団体・企業名	
取組の名称	幼稚園での地域交流 小中学校での地場産学校給食の実施
実施時期	令和元年6月
取組内容	【幼稚園での地域交流】 ・御陵幼稚園では、園児の祖父母、民生委員の方々をお招きして、カレーパーティを開催。3～4歳児は野菜の皮剥き、5歳児は包丁を使って野菜を切って、カレー作りのお手伝いをしました。大鍋でたくさんの野菜を炒めているときは、園中にはじけた音と、香ばしい匂いが広がって「おいしそうや〜！」と子ども達も五感を使って観察していました。出来上がった大鍋いっぱい愛情たっぷりのカレーはおいしく、みんな大満足。じゃがいもは、園の畑で収穫したものを使用。これからは夏野菜も収穫できます。今回のふれあい交流や、これまでの畑活動を通して、子ども達の心と体が大きく成長してくれることを願います。  幼稚園での地域交流の様子 【小中学校での地場産学校給食の実施】 ・地場産学校給食推進の一環として、「ふくい地場産学校給食」を、全小中学校で実施。福井県特産の食材を使用した学校給食を生徒に提供すると共に、それらを教材とした食育学習を各小中学校で行いました。  ふくいサーモン、五領タマネギ使用の給食 ○その他、学校給食等を介した食育の推進 ・「給食だより」や、「お昼の放送」を通した食育の発信 6月は食育月間であることや、食育の祖「石塚左玄」の訓え、地場産学校給食の実施と、使用した食材についての情報を掲載し食育を推進。 ・栄養指導参観と給食試食会の実施 小学1年生の保護者を対象に実施。栄養指導や児童の配膳の様子を参観し、配膳、試食、学校栄養士からの話しの中で、家庭での好き嫌いを減らす献立の工夫や声かけ等の大切さについて関心を高めていただく機会となった。 ・「ふるさと給食の日」の実施 福井県の郷土料理を給食に取り入れ紹介。また、ふるさと知事ネットワーク給食交流事業の一環として宮崎県の特産品や郷土料理を給食に取り入れた「宮崎県ふるさと給食の日」も実施。 ・地場産食材の紹介 福井県のふるさと給食の献立「若狭牛のすき焼き煮」と「五領玉葱の味噌汁」に合わせて、「若狭牛」と「五領タマネギ」について、委員会で発表しました。  栄養指導参観と給食試食会  地場産食材の紹介

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	南越前町
取組の名称	学校保健委員会
実施時期	令和元年6月13日
取組内容	南条小学校では自由参観日（学校公開日）に、学校保健委員会として、各学年で歯や心の健康に関する授業を行いました。 中学年には栄養教諭が授業を実施しました。3年生は「おやつを食べ方について考えよう」という内容で、おやつのよい食べ方を考えたり、おやつカードを使っておやつ選びをしたりしました。4年生は「よくかんで食べよう」という内容で、ゼリーとスルメの食べ比べを取り入れながら、よくかんで食べることの大切さやよくかんで食べるための方法を勉強しました。 児童からは「今までは1袋全部食べていたけれど、半分にしたいです。」「体によいものも組み合わせたいです。」「まわりの人より食べ終わるのが早いので、これからはよくかむことを意識したいです。」「『ひみこのはがーぜ』を思い出して食べたいです。」などの感想がありました。 保護者の方からも「親もおやつを食べ方を見直すよいきっかけになりました。」「かむことの大切さを改めて学びました。これからの食事にいかしていきたいです。」などの感想をいただきました。  

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	越前町
取組の名称	えち膳の日（町産食材 100%献立）の実施
実施時期	令和元年 6 月 28 日(金)
取組内容	例年 6 月と 11 月に提供している「えち膳の日」献立を、食育月間に合わせて町内の全小・中学校を対象に 1,800 食提供しました。 越前町は越前海岸で獲れる海産物をはじめ、織田きゅうりやニューピー（ピーマン）、宮崎地区のたけのこなど様々な特産物があり、豆腐に使う大豆も町内産とすることで、学校給食での地場産食材の使用率・使用品目数は県内でもトップクラスを誇っています。 この取組は、給食センターと生産者及び県・町が連携し、提供の 3 か月前に情報交換会を行い、その時期に提供できる農産物の確保や、必要な農産物の生産を依頼したりするなど、生産者と消費者の連絡を密に行うことで成り立っています。 【献立内容】 ・ 古代米ごはん ・ 玄米とトマトのクリームスープ ・ きゅうりとズッキーニの梅サラダ ・ 牛乳 ・ とびうおの変わりフライ ・ 豆っこ新ちゃん まこも味 【使用した地場産物】 米、古代米、じゃがいも、にんじん、玉ねぎ、かぶ、とうもろこし、トマト、とびうおしいたけ、きゅうり、ズッキーニ、キャベツ、梅、大豆、マコモ 

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	美浜町
取組市町村名 取組団体・企業名	①全域 ②美浜町小学校（3校） ③美浜町小中学校（4校）
取組の名称	①親子げんげん ^{ぶらす} 歩楽寿 ②ふれあい食育事業 ③地場産学校給食
実施時期	①②③ 6月
取組内容	【親子げんげん歩楽寿】  町内小学校6年生の家庭科授業にて、生活習慣病や正しい食事の摂り方についての講座と、1食分に必要な野菜を使用した炒め物等の調理実習を行いました。講座では、町民に高血圧の人の割合が多いことやその原因となる塩分の摂り方について、調理実習では、1食に必要な野菜の量を計量し、必要な野菜量を把握すること、調味料の計量の方法を知ることにより重点を置き実施しました。 【ふれあい食育事業】  町内小学校（全3校）1年生児童およびその保護者を対象に、学校給食の試食・参観を通して食育への理解を深め、推進を図ることを目的として実施しました。栄養教諭による授業では、給食センターで働く人や給食が出来上がるまでの様子を見学し、クイズや実践を通して、食事のマナーについて伝えました。はしや食器の持ち方は保護者も一緒に取り組みました。授業で学んだこと、経験したことが、家庭でも継続できるように今後も実施していきたいです。  【地場産学校給食】  『しあわせ元気給食』をテーマに、美浜町のコシヒカリ、きゅうり、玉ねぎ、県内で水揚げされた鯖、県産の里芋、舞茸、梅を使った地場産学校給食を、町内の小中学校（全4校）に提供しました。栄養教諭とプロのシェフが共同で考えた『しあわせ元気給食』の献立である「鯖のセサミケチャップソース」をメインに、地場産をたっぷり使用した給食になりました。児童生徒には地場産物や地産地消のこと、食材の栄養のことなどをパワーポイントで指導し、学校給食に関心を持ってもらえるように取り組みました。

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名	福井県																						
取組市町村名	高浜町																						
取組の名称	たかはまわかめでふりかけを作ろう																						
実施時期	4月中旬から5月上旬																						
取組内容	【ねらい】 ・町内保育所児に、普段食べているわかめという食材がどこで、どんな風に採られているかを知ってもらいます。 ・道具を使いわかめの採り方を聞き、その大変さを知ること地元の特産品に関心を持ってもらいます。 ・海に生えていたわかめと、乾燥させたわかめの違いを知って食への関心を持ってもらいます 【わかめ干し体験・ふりかけづくりの実施日・参加者】 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>わかめ干し体験</th><th>ふりかけづくり</th><th>参加人数</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>内浦保育所</td><td>4月15日（月）</td><td>5月10日（金）</td><td>全所児 9名</td></tr> <tr> <td>青郷保育所</td><td>4月16日（火）</td><td>5月 8日（水）</td><td>年長児15名 年中児15名</td></tr> <tr> <td>和田保育所</td><td>4月19日（金）</td><td>5月10日（金）</td><td>年長児33名 年中児20名</td></tr> <tr> <td>高浜保育所</td><td>4月22日（月）</td><td>5月10日（金）</td><td>年長児29名 年中児33名</td></tr> </tbody> </table> 【実施内容】 生わかめを洗い、小分けバケツに入れて生わかめを干場にて洗濯バサミで干す作業を行いました。後日、乾いたわかめを自分たちで細かくして、ご飯にふりかけて給食で味わいました				わかめ干し体験	ふりかけづくり	参加人数	内浦保育所	4月15日（月）	5月10日（金）	全所児 9名	青郷保育所	4月16日（火）	5月 8日（水）	年長児15名 年中児15名	和田保育所	4月19日（金）	5月10日（金）	年長児33名 年中児20名	高浜保育所	4月22日（月）	5月10日（金）	年長児29名 年中児33名
	わかめ干し体験	ふりかけづくり	参加人数																				
内浦保育所	4月15日（月）	5月10日（金）	全所児 9名																				
青郷保育所	4月16日（火）	5月 8日（水）	年長児15名 年中児15名																				
和田保育所	4月19日（金）	5月10日（金）	年長児33名 年中児20名																				
高浜保育所	4月22日（月）	5月10日（金）	年長児29名 年中児33名																				
	 																						
	 																						

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	①おおい町（おおい町立学校給食センター） ②おおい町、保健医療課・保健福祉室・いきいき隊
取組の名称	①ふくいので場産学校給食推進事業 ②災害時の食の備えに関する普及・啓発活動
実施時期	①令和元年6月21日（金） ②令和元年6月22日（土）
取組内容	①「ふくいのでおいしい魚を食べる給食～ふくいサーモンを味わおう～」 【実施対象校】おおい町内の小中学校（小学校4校 中学校2校） 【取組内容】各学校の給食時間に、福井県教育庁スポーツ保健課の事業を活用し、地域の特産食材（ふくいサーモン）を使用した学校給食を児童生徒に提供するとともに、ふくいサーモンについて理解を深めるための食に関する指導を実施しました。 【実施献立】坂本のお米のごはん、牛乳、ふくいサーモンの南蛮風、名田庄ふるさと漬け、若狭わかめのみそ汁、おおいの梅ゼリー 【指導内容】※給食主任や学級担任等の協力も得て、全校一斉に実施 （1）ふくいサーモンについての説明 ・ふくいサーモンの特徴（見た目、味わい） ・おおい町で大規模に養殖されていること ・県内で稚魚も育成し、県内で生まれ育つこと ・全国一の生産量を目指して日々研究に取り組まれていることや、生産者の想い （2）味わって食べるように声掛け 【取組の効果】学校給食での提供に合わせて一斉に指導を行えたことで、児童生徒はより意識をして味わう様子が伺えました。ふくいサーモンの養殖に関わる方の想いを知り、地域の食材に愛着をもって、じっくりと大切に味わいながら、地域の素晴らしさを再認識していました。 ②災害時の食の備えに関する普及・啓発活動 町内の保健・福祉・医療の総合施設「あっとほ～むいきいき館」で開催されたイベント「あっとほ～むデッ！！いきいきまつり」において、町の栄養改善事業のサポーター役であるいきいき隊と共に、食生活に関する普及啓発活動を行いました。 【目的】食べることは生きること。いつ起こるかわからない災害に備えて、備蓄しておくべき水や食料の種類や必要量、また備蓄食品を使った調理法等、『防災食』に関する普及啓発。 【対象者】あっとほ～むデッ！！いきいきまつり来場者（約230人） 【内容】大人1人1週間分の食料、調理器具等の備蓄品の展示、ポリ袋を使った洗いが少ない調理法（パッククッキング）の実演・試食の提供 パッククッキングを初めて知る方も多く、ポリ袋で炊飯や、煮物、デザートができることに驚かれていました。



①学校給食推進事業



②災害時の食の備えに関する普及・啓発活動

【様式 1】

① 食育月間の取組

提出都道府県名 政令指定都市名	福井県
取組市町村名 取組団体・企業名	若狭町・若狭町梅振興連絡協議会
取組の名称	青梅まつり 2019（梅ジュースづくり体験ほか）
実施時期	令和元年 6 月 1 6 日（日） J A 敦賀美方 梅の里会館前
取組内容	【「青梅まつり」で梅ジュース作り体験 ほか】 若狭町の特産であり、収穫最盛期を迎える福井梅を県内外へ広く P R すると共に、福井梅を使った食育の推進を図ることを目的として『青梅まつり』での開催を計画しました。しかしながら、当日は、暴風雨となってしまう、屋外テントでの実施を取り止めたため、クイズについては中止しました。 会場では、青梅の特売はもちろんのこと、また、地元の美方高校食物科の生徒達が講師となり、もぎたて青梅を使った梅ジュース作り体験教室を開催した他、美方高校、若狭東高校がそれぞれ考案した福井梅を使ったスイーツ等の販売や、豪華特産品が当たる特産輪投げ抽選会等が催され、会場を訪れた観光客や地元住民へ、若狭町の梅産地や特産品の魅力を発信するとともに、町の食育・地産地消の推進を図りました。大雨の中でしたが、多数の来客がありました。    